

情報探索入門授業ガイド

「なに」を「どのように」探索するのか
～ 授業の目的と活動内容～

情報探索って何？

単なる「情報検索」ではありません
あくまで、「情報**探索**」です

情報を探って、探って、「索(縄とか綱という
意味がある)」をたぐるように、どんどん深く
掘り下げていくこと。これが情報探索です。

何を探索するの？

決まってません



まずは、自分たちが「何を知りたいのか？」
これを探ることが、情報探索の第一歩です。

後で、探索テーマの例と方向性を示します。テーマ例を参考にしながら、指示された方向性の枠内で自由にテーマ設定して下さい。

どうやって探索するの？

この授業では4つの方法で「情報探索」をしていきます
すべてグループワークで探索活動を行います

オンライン調査：インターネット上での情報収集

ライブラリ調査：図書館・文献データベースの利用

放送メディア調査：テレビ・ラジオ番組などを情報源として活用

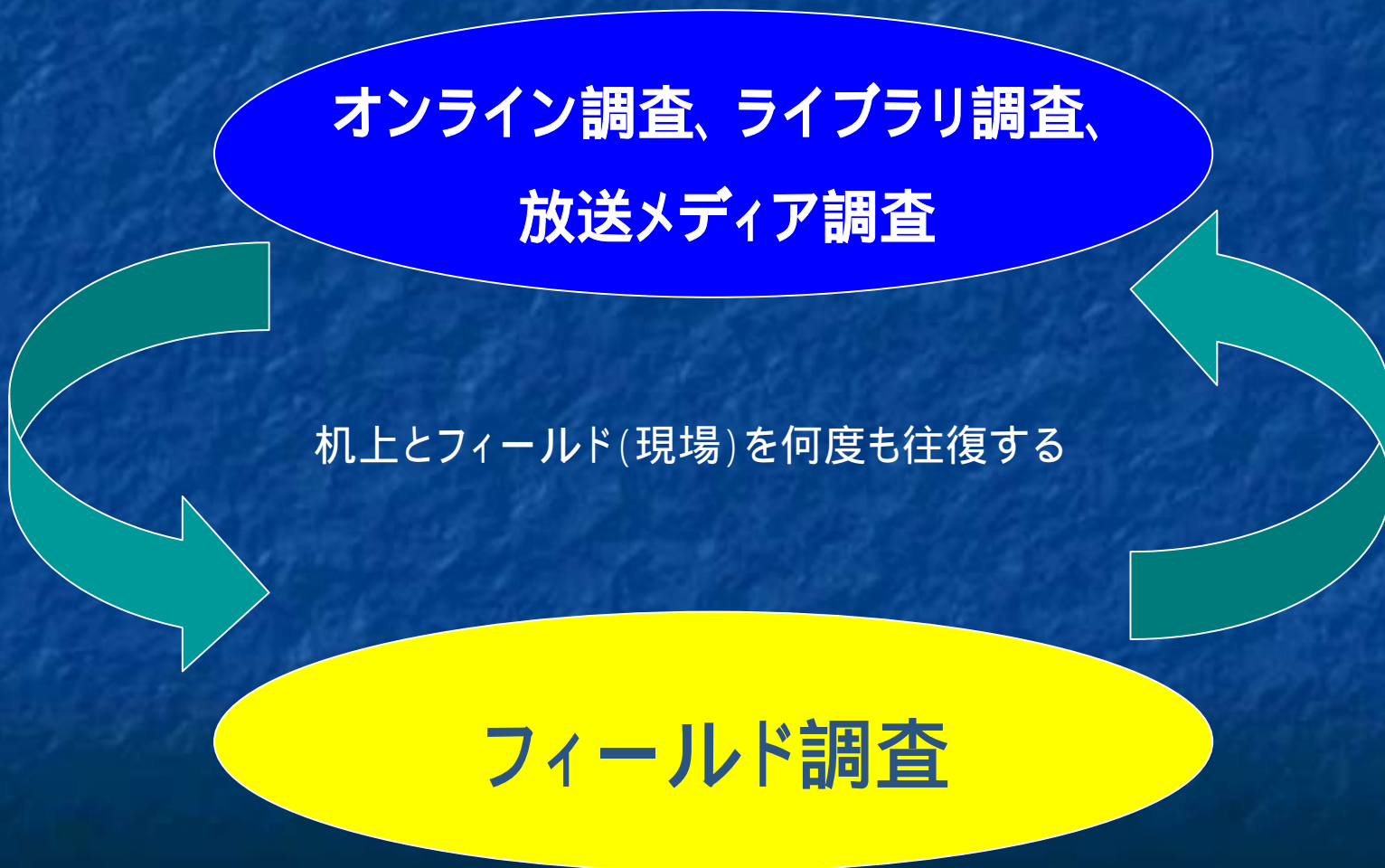
フィールド調査：現場へ出て、写真撮影、インタビュー、観察

探索活動のイメージ

オンライン調査、ライブラリ調査、
放送メディア調査

机上とフィールド(現場)を何度も往復する

フィールド調査



調査成果の報告について

調査ノートの提出(基本的に毎回提出。ノートの内容も成績評価の対象になります)

授業期間中に3回程度の**中間報告**(3分程度で進捗状況をクラス内で発表)

最終報告

ホームページ形式、パワーポイント形式、その他の形式(要相談)で、最終報告。プレゼンテーションをしてもらいます。

まずは探索テーマを設定

- 最初からガチガチに決めなくても良い(最初は漠然とで良い)
- 探索の進展と共にテーマを明確にしていく。最初の関心を明確な「問い」に鍛え上げる。

テーマ設定の条件

- フィールド調査がこの授業のひとつの課題なので、「現場」のないテーマは今回はなし。
(本で調べるだけで済むテーマはなし)
- 「現場」は実際に調査可能な場に設定する。
たとえば、「港北ニュータウン」。その他の場でも、メンバー全員が参加できる場なら可。

たとえば、こんなテーマ

授業ホームページの「テーマについて」を参照

<http://www.yc.musashi-tech.ac.jp/~tansaku/>

テーマ例を参考にしながら、各グループで
どんなテーマでいきたいか議論して下さい。



どうやって議論すればいい？

ブレインストーミングのすすめ

探索テーマを導き出すために

Brain Storming (脳のなかに嵐をおこす) とは、できるだけ束縛を取り払い、自由な発想を引き出しながら、より良いアイディアを出していくための議論の仕方です。たいていは、省略して、「ブレスト」などと呼ばれています。

ブレストのルール

1. 他人の発言を批判しない
2. 自由奔放な発言を歓迎する。
3. 質より量を求める。
4. 他人のアイデアに便乗する。

要は、なんでもいいから「とりあえず言ってみる」ことが大事です。ルールですから、絶対に批判したり、馬鹿にしたり、下らないと却下したりしてはいけません。できるだけ、他人の発言にのっかって、それを発展させる方向で話を進めると、意外なところから、良いアイディアへまとまっていくことがあります。